



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                     |                                                                                                                                                                                  |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title               | マンガ＜百合＞表象論                                                                                                                                                                       |
| Author(s)           | 郭, 如梅                                                                                                                                                                            |
| Description         | この博士論文の全文は利用可能日以降に公開されます。利用可能日以前の閲覧方法は <a href="https://www.lib.hokudai.ac.jp/dissertations/copy-guides/">https://www.lib.hokudai.ac.jp/dissertations/copy-guides/</a> をご参照ください。 |
| Degree Grantor      | 北海道大学                                                                                                                                                                            |
| Degree Name         | 博士(文学)                                                                                                                                                                           |
| Dissertation Number | 甲第17040号                                                                                                                                                                         |
| Issue Date          | 2026-06-30                                                                                                                                                                       |
| DOI                 | <a href="https://doi.org/10.14943/doctoral.k17040">https://doi.org/10.14943/doctoral.k17040</a>                                                                                  |
| Doc URL             | <a href="https://hdl.handle.net/2115/100093">https://hdl.handle.net/2115/100093</a>                                                                                              |
| Type                | doctoral thesis                                                                                                                                                                  |
| File Information    | Guo_Rumei_abstract.pdf, 論文内容の要旨 <a href="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/">https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/</a>                                          |



# 学位論文内容の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（文学）

氏名： 郭 如 梅

## 学位論文題名 マンガ〈百合〉表象論

### ・本論文の観点と方法

本論文は、女性同士の親密な関係を描いた〈百合〉と称されるマンガを主な研究対象とした作品研究である。このジャンルのマンガが、どのように戦前期の少女小説と一九七〇年代以降の少女マンガという二つの水脈を横断的に汲み取りつつゼロ年代において変容していったのかを究明する史的研究でもある。〈百合〉マンガの作品分析については、活字と図像の相互作用というマンガ媒体の特性から、物語内容と図像表現の双方からアプローチする。物語内容の分析では、少女小説の女性同性愛表象に関わる日本近現代文学のジェンダー研究を視座として、「女学校」の「少女」をめぐる「セクシュアリティ」、「恋愛・結婚・生殖」、「家族」、「母性」などの観点から〈百合〉マンガを読み解く。図像表現の分析では、さらに登場人物の内的な心象風景と、外的な運動表現に大別しながら論じる。人物の感情表現という内的空間の描写は一九七〇年代の少女マンガにおいて、「性的な身体」というテーマを通して、コマ割りの重層化や時間的分節機能の停滞などの表現技法によって洗練化された。その心象風景の表現技法がどのように〈百合〉マンガの女性同性愛表象に用いられ、レズビアン・セクシュアリティを顕在化させるのかを解明する。また、身体の運動表現については、女性同士のセックスシーンを素材として分析を行う。少年愛ものに代表される一九七〇年代の男性同性愛表象と比較しながら、〈女性〉役割の性的主体性を重視する〈百合〉ポルノグラフィの形成経緯と、〈百合〉ポルノグラフィに用いられる内的独白、コマの分配、背景の描かれ方、スクリーントーンや効果線の使い分けなどの表現技法を明らかにする。

### ・本論文の内容

本論文は、三部に分かれ、序章・全九章・終章で構成される。

第一部「ゼロ年代〈百合〉表象の形成」では、〈百合〉というカテゴリーが定着したゼロ年代の前半期に着目し、専門誌『百合姉妹』に掲載されたマンガ作品の〈百合〉表象を考察する。第一章「少女マンガ同性愛表象史——一九七〇年代前後」では、戦前期の少女小説における女性同性愛表象の定型を参照しつつ、一九七〇年代前半の少女マンガの女性同性愛表象を考察する。山岸凉子「白い部屋のふたり」、一条ゆかり「摩耶の葬列」、池田理代子『おにいさまへ...』の三作品を研究対象として、男性同性愛を描いた竹宮恵子『風と木の詩』、山岸凉子『日出処の天子』と比較しながら分析する。第二章「ゼロ年代〈百合〉表象論——蔵王大志作画・影木栄貴原作『春夏秋冬』を視座として」では、〈百合〉表象における「BL」（ボーイズラブ）の表現定型からの横領を考察する。蔵王大志・影木栄貴の『春夏秋冬』は、「攻め／受け」という役割分担を継承しながら、性規範の非対称な権力関係の暴力性を露呈させて、流動的なセクシュアリティを描いたと評価する。第三章「男性向け〈百合〉ラブコメディの形成——林家志弦『ストロベリーシェイク』を視座として」では、〈百合〉マンガが一九八〇年代前後の少年マンガのラブコメディの表現定型を、女性同性愛の恋愛物語にいかに関与したのかを究明する。主人公の内面空間による女性同性愛的欲望の顕在化は、〈百合〉マンガの表現定型と捉えられる。その少女マンガから継承した定型を踏まえ、林家志弦『ストロベリーシェイク』は少年マンガにおける発話や運動などの外面空間の表現技法を先鋭化させていると述べる。第四章「少女マンガにおける恋愛表象の再編成——森永みるく『くちびるためいきさくらいろ』を視座として」では、少女マンガの恋愛表現の定型がどのように〈百合〉表象によって流動化されるのかを明らかにする。森永みるく『くちびるためいきさくらいろ』に収録された読み切りの短編連作は、ロマンティック・ラブ・イデオロギーの土台である強制的異性愛を女性同性愛に置き

換え、セクシュアリティ・マイノリティの精神的な苦痛を具現化する。異性愛規範への収斂を牽制しつつ、少女マンガの表現定型を用いる本作の〈百合〉表象は、レズビアンの対等な関係性を描き出し、恋愛表象の定型に流動性をもたらすものと評価する。

第二部「〈百合〉表象の到達点」では、〈百合〉表象における明治期からの女性同性愛表象の継承と断絶を明らかにする。「姉妹関係」による女性同性愛的欲望の表出に加え、「女学校」という性別隔離の特殊空間と、「作中作」による重層的な演劇空間が〈百合〉マンガの紋切り型として用いられ、女性同士の関係性でも生じる役割分担の強要などの問題点が指摘される。その女性同士の間の非対称性や性規範から逃れられない女性同性愛と向き合いつつ、既存の婚姻制度や固定的な家族編成のもとで、対等な関係性が多様に描き出されるさまを明らかにする。第五章「〈百合〉マンガにおける〈男性〉性の行方——吉田秋生『櫻の園』と志村貴子『青い花』との比較を通して」では、〈男性〉性の描かれ方を通して、女性同士の間の性役割分担を考察する。〈百合〉マンガの〈男性〉性は、女学生同士の間で要請される役割分担として描かれる点に着目し、ゼロ年代〈百合〉表象は戦前期の女性同性愛表象の定型をずらしつつ受け継いでいることを明らかにする。第六章「〈百合〉マンガにおける〈女性〉の再主体化——志村貴子『青い花』を視座として」では、〈男性〉性の検討を踏まえ、「作中作」である三島由紀夫の戯曲『鹿鳴館』における影山伯爵夫人・朝子役と、重層的に描き出される〈女性〉役割の主体性の形成経緯を明らかにする。既存の婚姻制度の抑圧と対峙しつつ対等な関係性を追求するキャラクターの物語により、ゼロ年代〈百合〉表象はレズビアンのモノガミーの関係性を描くのみならず、〈女性〉役割にまつわる性規範の問題系への関心を示していることを論証する。

第三部「〈百合〉表象の拡散」では、女性同士の性愛表現に照準を定め、〈百合〉ポルノグラフィと、〈百合〉表象の「キャラクター消費」を考察する。第七章「玄鉄絢『少女セクト』論——ゼロ年代における〈百合〉ポルノグラフィの再編成」では、一八禁指定の玄鉄絢『少女セクト』の性表現は、BL 作品などに描かれるレイプ表現定型を横領し、それらの定型に内包される男女の非対称性を転覆すると述べる。覇権的なモノガミーの恋愛関係とは異なる女性同士の「親密圏」が描き出される本作を、〈百合〉表象として評価する。第八章「マンガ表現技法による〈百合〉ポルノグラフィの形成——森島明子『半熟女子』を視座として」では、「身体コンプレックス」と「女性同士のセックスシーン」という二つのテーマから〈百合〉ポルノグラフィの表現技法を通時的に考察する。森島明子『半熟女子』、吉田秋生『櫻の園』、津雲むつみ「Moonlight Flowers 月下美人」、やまじえびね『LOVE MY LIFE』、蔵王大志作画・影木栄貴原作『春夏秋冬』、森永みるく『くちびるためいきさくらいろ』、玄鉄絢『少女セクト』の六作と比較しながら分析を行う。第九章「ゼロ年代〈百合〉表象におけるキャラクター消費の多重構造——なもり『ゆるゆり』を視座として」では、専門誌の動向によって表出される男性読者層と、「萌え」という言葉に集約されるオタク文化の消費欲求に着目し、なもり『ゆるゆり』を対象にしてゼロ年代〈百合〉表象の「キャラクター消費」の重層構造を解明する。「キャラクター消費」は作品群の「男性向け」／「女性向け」のカテゴリーに基づき、読者の欲望する立ち位置の相違により、〈男性〉オタクの美少女を性的客体として消費する「データベース消費」と、〈女性〉オタクの美少年の性愛描写を消費物として賞玩する「相関図消費」といった二つの定型に分けられている。他方、本作は「キャラクター消費」を用いて、女性同士を性的対象とする行為や女性同士の性交渉の想像など女性同性愛的欲望が描き出される。二つの定型の併存により、キャラクターの欲望する立ち位置と、関係性の性役割分担が柔軟化される。BL 定型と異なる「攻め／受け」の流動化により、〈百合〉表象の「キャラクター消費」はゼロ年代後半で定着し、二〇一〇年代に増殖しつつ拡散していくことを明らかにする。